

TOSAギャラリー

シンガポール人の友達のビデオが、約四年半ぶりにニューヨークに遊びに来ました。彼女は、私がICP(インターナショナル・センター・オブ・フोटोगラフィー)の学生だったころ、三カ月ほどルームメイトでした。当時、私は英語で大変苦労していました。日本にいる時、英語の勉強は好きだったし、中学、高校、大学と、十年間も勉強したはずですが、さらに、TOEFLの集中コースにも行きました。それにもかかわらず、授業にまったんとしていけません。三十二歳のクラスの中で落ちてはじめていく気持ちも味わうのは、かなりの骨身にしました。

「だいたい英語がまよなまか？」と聞くと、「最初のうちはまよなまか」と言います。思い返したときに会ったピアノに、それが私の実感です。私たちが卒業の奥で、本当は心を使っているのだと思えます。卒業して働き始めた時、新たなのです。むしろ、最初会った時から心が近かったのだ、なぜか相手の英語もよく理解できるし、向うもこちらの下手な英語も身振り手振りをよく理解してくれた、という感じです。言葉は重要だけれど重要でもない。矛盾しているようですが、

たかこのスラングブック

たかこのスラングブック

たかこのスラングブック

り、変な英語もいちいち直してくれ、皆との距離も近くなり、英語力もひ始めました。このノートは私の宝物です。

この過程で私はもうひとつとても大切な事を学びました。ある日、会社の友達と言った事が理解できなかった、私はつい落ち込んでしまいました。その時に、逆に彼が、私を傷つけたと思って落ち込んだ事に気付きました。とても反省しました。自

きだ たか 1970年、中村市(現四万十市)生まれ。フリーランスフォトグラファーとして、ミック本シネマキッズなどの仕事をこなす。2002年渡米。ニューヨークのインターナショナル・センター・オブ・フोटोगラフィーで学ぶ。ニューヨーク在住。



となりの  
ニューヨーク

木戸 孝子

The Ordinary  
#4  
(125th St. Station, NY)

てみると、彼女を含め、なぜかうまく意思疎通ができ、気の合う人たちがいまいました。英語のレベルは誰としゃべっても同じはずなので、あれこれしゃべって意気投合したというわけでは

な言葉の壁にぶつかりました。あの厳しいICPは、またぬるま湯だったのです。ICPには世界から人が集まっているので、皆下手な英語に慣れていました。でも、私の働くスタジオはアメリカ人ばかり。スピード

ませんー  
真剣に悩み、ある日、「たかこのスラング(俗語)ブック」というノートを作り、「二日一ツスラングを覚えて」と頼みました。私の決意を知りや、皆あれこれ教えてくれるようにな

分のネガティブなエネルギーで、他人をも落ち込ませてしまっていたのです。  
日々、いろいろな事があるので、言葉の事だけではなく、落ち込みそうになる事はよくあります。でも今は、明日は明日の風が吹くとはかりに、一晩寝て忘れる事になっています。次の日は別の日で、同じ事が起こるわけではないのです。そしてまた、私は、新しい一日を元気に始めます。





高知新聞(夕刊) 2007年5月17日

## となりのニューヨーク ―たかこのスラングブック―

シンガポール人の友達のビビアンが、約四年半ぶりにニューヨークに遊びに来ました。彼女は、私がICP(インターナショナル・センター・オブ・フォトグラフィー)の学生だったころ、三ヶ月ほどルームメイトでした。当時、私は英語で大変苦勞していました。日本にいる時、英語の勉強は好きだったし、中学、高校、大学と、十年間も勉強したはずです。さらに、TOEFLの集中コースにも行きました。それにもかかわらず、授業にまったくついていけません。三十二歳でクラスの中で落ちこぼれていく気持ちを味わうのは、かなり骨身にしました。

久々に会ったビビアンに、「だいふ英語うまくなった?」と聞くと、「最初からうまかったよー」と言います。思い返してみると、彼女を含め、なぜかうまく意思疎通ができ、気の合う人たちがいました。英語のレベルは誰としゃべっても同じはずなので、あれこれしゃべって意気投合した、というわけではないのです。むしろ、最初会った時から心が近かったのも、なぜか相手の英語もよく理解できるし、向こうもこちらの下手な英語や身振り手振りをよく理解してくれた、という感じです。言葉は重要だけど重要でもない。矛盾しているようですが、それが私の実感です。私たちは言葉の奥で、本当は心を使って会話しているのだと思います。

卒業して働き始めた時、新たな言葉の壁にぶつかりました。あの厳しいICPは、まだぬるま湯だったのです。ICPには世界から人が集まっているので、皆下手な英語に慣れていました。でも、私の働くスタジオはアメリカ人ばかり。スピードも言い回しも違います。

だんだんわかってきたのが、アメリカ人は実は日本人以上に人の気持ちを気遣う人々だということです。例えば、私の英語が聞き取れない時、何度も聞き返すと失礼だと思おうようで、ほとんど聞き返してきません。間違った単語や文法でしゃべった時も、それを直すと私が傷つくだろうと思い、聞き流しています。これでは私の英語は進歩しません!

真剣に悩み、ある日、「たかこのスラング(俗語)ブック」というノートを作り、「一日一つスラングを教えて!」と頼みました。私の決意を知るや、皆あれこれ教えてくれるようになり、変な英語もいちいち直してくれ、皆との距離も近くなり、英語力ものび始めました。このノートは私の宝物です。

この過程で私はもうひとつとても大切な事を学びました。ある日、会社の友達が言った事が理解できなくて、私はつい落ち込んでしまいました。その時に、逆に彼が、私を傷つけたと思って落ち込んだ事に気付きました。とても反省しました。自分のネガティブなエネルギーで、他人をも落ち込ませてしまっていたのです。

日々、いろいろな事があるので、言葉の事だけではなく、落ち込みそうになる事はよくあります。でも今は、明日は明日の風が吹くとばかりに、一晩寝て忘れる事にしています。次の日は別の日で、同じ事が起こるわけではないのです。そしてまた、私は、新しい一日を元気に始めます。